

第 15 回名護市空手道選手権大会
兼第 51 回名護市球技武道陸上大会（空手道競技）要項

- 1 主 催 名護市スポーツ協会
主 管 名護市スポーツ協会空手道専門部
後 援 名護市・名護市教育委員会
協 賛 (株) 守礼堂
- 2 期 日 令和 8 年 8 月 3 0 日（日） 開会式 1 0 時（開場 8 時 3 0 分）
- 3 会 場 21 世紀の森体育館 メインアリーナ
- 4 種 目 (※個人戦のみでおこないます)
(1) 男子・女子形競技・・・幼稚園・小学生 1 年・小学生 2 年・小学生 3 年・
小学生 4 年・小学生 5 年・小学生 6 年・
中学生・高校一般
(2) 男子・女子組手競技・・・幼稚園・小学生 1 年・小学生 2 年・小学生 3 年・
小学生 4 年・小学生 5 年・小学生 6 年・
中学生・高校一般
- 5 競技規定 (財) 全日本空手道連盟競技規則及び審判規定並びに本大会申し合わせ
事項による。
- 6 参加資格 (1) 令和 8 年度沖縄県空手道連盟加盟団体
(2) 参加団体の指導者のうち、原則として 1 名は（コーチ 1）もしくは
（スタートアップコーチ）の資格を有する者であること。
(3) 指導者・選手ともスポーツ安全保険に加入していること。
- 7 監 督 監督・コーチの腕章又はそれに代わる表示をしなければならない。
コーチ 指定された監督・コーチ以外は競技タタミ内には、入れない。
- 8 審 判 審判は沖縄県空手道連盟公認審判員又は県審判講習受講者で構成する。
- 9 表 彰 各種目優勝・準優勝・3 位を表彰する。
- 10 組合せ 組合せは主管団体立ち会いのもと厳正に行う。
- 11 参加資格 名護市内の沖縄県空手道連盟加盟道場に在籍している選手である事。

又は上記の資格は無いが、専門部が認めた団体又は個人（招待選手・団体）

12 参加料 ① 1 人 1 種目 3, 200 円とする。

13 競技規則

☆ 選手は形と組手両方参加することができます。

☆ 組手・・・トーナメント方式

※競技時間は小学生 1 分フルタイム 6 ポイント先取同点の場合は内容又は旗判定とする。

※中学生 1 分 30 秒フルタイム 6 ポイント先取。同点の場合は内容又は旗判定とする。

※高校生・一般は 2 分 8 ポイント差。同点の場合は内容又は旗判定とする。

☆ 形・・・フラッグ方式のトーナメントで行い。2 名同時に演武する。

（但し、決勝から 1 名ずつ演武する。）勝敗は審判団の赤旗・青旗の多数決により決定する。

☆幼稚園

自由形 繰り返し演武可能（1 回戦～決勝まで 1 つの方でも可能）

☆ 小学 1

年生～小学 6 年生（県少年少女大会形競技規定とする）

（1） 1 回戦～ベスト 16 まで選択できる形

首里手	那覇手	その他
ピンアン初段	ゲキサイ第 1	普及形 1
ピンアン 2 段	ゲキサイ第 2	普及形 2
ピンアン 3 段		
ピンアン 4 段		
ピンアン 5 段		

（平安初段～5 段も可能）

※ベスト 8 から決勝まで選択できる形

（2）（但し、1 回戦からベスト 16 で使用しなかった形も選択できる）

第 1 指定形	第 2 指定形
セーパイ	クルルンファ
サイファ	セイサン
バッサイダイ	エンピ
セイエンチン	カンクウショウ
ジオン	マツムラローハイ
カンクウダイ	ニーパイボ
セイシャン	クーシャンクー
チントウ	ニーセーシー

- ① ベスト 8 からは、これまでに使っていない（１）及び（２）全空連第 1 指定形、第 2 指定形の中から選択する事。最低で 1 回戦からベスト 16 までとベスト 8 から決勝まで 2 つの形が必要である、参加者が 8 名に満たない学年については 1 試合目から適用される（一つの形で決勝まで出来る）
- ② 意識的に空手着を叩いて音をならす行為、過度な息吹・足打ちなど、無駄な動作、無駄な間は減点対象とする
- ③ 1 回戦～準決勝までは同時演武、決勝は個別演武とする

☆中学生

ラウンド	人 数	使用できる形	演武形式
1 ～ 2 回戦	16 ～	第 1 指定形	同時
3 回戦	8	第 2 指定形	
準決勝	4	第 2 指定形・得意形 3 回戦の形又は繰り返	同時
決勝	2	し演武可能※ 1 ～ 2 回戦で使用した形は不可	個別

☆高校生・一般

ラウンド	人 数	使用できる形	演武形式
1 ～ 2 回戦	16 ～	県民体育大会の形規定とする、別表 1 の形リストより自由に選択できる、各対戦ごとに形を変えなければならない、1 回使用した形は各回戦では使用できない。	同時
3 回戦	8		同時
準決勝	4		
決勝	2		個別

☆、組手試合・形試合とも 3 位決定戦はおこなわない。

14 安全具 組手全種目については下記に示す安全具を着用する事とし、違反者は失格になる場合がある、各自準備すること。（安全具の貸し借りは原則禁止）

- ① ボディープロテクター／拳サポーター／メンホー／インステップガードシンガード、※防具については全空連検定品を使用する。
- ② 小学 3 年生男子～一般男子は、必ずファールカップを装着すること、但し、幼稚園男子～2 年生男子は所属の指導者の判断に委ねる。
- ③ 小学生はリバーシブルのみ可。但し、中学生・高校一般とも赤、青の拳サポーター使用についてはコーナーに従って使用する。金属のヘアバンド、ヘアピン等は一切認めない、ミサンガ・リボン・ビーズ及びその他の装飾は禁止する。
選手は競技規定にあった清潔な白の空手着を着用すること。ゼッケンがない場合守礼堂が作成したものを事務局から参加道場へ配布する。

【大会中止に関する注意事項】

台風等の自然災害、地震その他の不可抗力により大会を中止または開催を中断した場合は、参加費の返金はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

なお、大会中止に伴う交通費、宿泊費等の費用につきましても、主催者は一切の責任を負いかねます。